

# 「応援後」医療態勢に意欲

## AMDA代表活動報告

東日本大震災の被災地で活動している国際医療NGO「AMDA(アムダ)」の菅波茂代表が5日、岡山市北区のアムダ本部で記者会見を開き、これまでの活動状況などを報告した。写真。

アムダは、震災直後から医師、看護師ら延べ112人を岩手県大槌町と宮城県南三陸町などに派遣。医療支援や、医薬品・救護物資の輸送に当たってきた。菅波代表は3月13日以降、2度にわたって被災地入りし、3日に一時、岡山に戻った。

菅波代表によると、避難



所の巡回診療では、被災者のプライバシーを守るスペースがなく、問診の際も被災者が大きな声で応えるのをためらうため、正常な医療活動が難しいという。そのため、今月中に両町に開設するプレハブ仮設診療所では、被災者の健康状態をより正確に把握し、傷病に合った治療や投薬につなげることと努めるといふ。

菅波代表は、今後の課題として「応援の医療関係者が被災地からいなくなっても、地元の医師だけで対応できる仕組み作りにならずつ取り組みたい」と話した。

AMDAに寄付へチャリティー演奏会

10日津山、17日北区

東日本大震災の被災者を支援するため、バイオリンスト入江洋文さんとピアノスト西牧尚子さん夫妻が今月、津山、岡山両市でチャリティーコンサートを開く。津山公演は10日午後2

時からアンタレスホール(津山市上横野)、岡山公演は17日午後2時からオルガホール(岡山市北区奉還町)で開演。入場料1000円は国際医療NGO「AMDA(アムダ)」に寄付される。

夫妻は2001年からアムダに協力する演奏会を開いており、4回目。エルガーの「愛のあいさつ」やヘンデルのソナタなど約10曲を演奏する。岡山公演ではピアノ、チェロの独奏もある。津山公演は要予約(090・3636・2990)。問い合わせは入江さん(0866・462・6113)。